

# ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No150

1999年

9~10月号

## ◇行事予定

### 手賀沼探鳥会とカウント

期日 9月12日(日) 雨天中止  
集合 我孫子市役所前 午前9時  
案内 秋の渡りの季節です。思いがけない鳥との出会いがあるかもしれません。サシバの姿も最後になるかも。正午頃解散予定  
担当 向井、大久保、染谷、  
※参考(昨年9月の定例探鳥会で見られた鳥  
カイツブリ、カワウ、カルガモ、コガモ....

### 幹事会

期日 9月12日(日)  
集合 天王台北近隣センター 午後1時30分  
議題 鳥だより掲載基準の検討、その他

### 【岡発戸谷津田観察会】

期日 9月19日(日) 10月17日(日)

### 岡発戸谷津だより 9月~10月の見どころ

岡発戸の谷津も初秋から秋にかけて季節の動きが感じられます。秋の野草はかれんな花を付けはじめます。モズも高鳴きを始め、ツバメやサシバは秋の渡りの準備をはじめます。

見られそうな動植物

鳥 モズ、ツバメ、サシバ、ヒヨドリ、ホオジロ、ダイサギ、その他の留鳥。

樹木 クリ、コナラ、アケビ、ガマズミ、等の木の葉。

野草 ヌスビトハギ、ヤブサメ、オオイヌタデ、ポントクタデ、ミゾソバ、セリ、アゼムシロ、ノササゲ、シラヤマギク等の花。

蝶 キアゲハ、キタテハ、ムラサキシジミ、ウラギンシジミ等。

蛾 ホタルガ等。

トンボ ノシメトンボ、アキアカネ、オニヤンマ。

セミ ツクツクホウシ、アブラゼミ等。

バッタ クサヒバリ、カンタン、エンマコオロギ、オンブバッタ等。

クモ ジョロウグモ、コガネグモ等。

※我孫子野鳥を守る会で借りている谷津田内の池「カワセミ池」ではどんな動植物が見つかるでしょうか。

### 小櫃川探鳥会

期日 9月19日(日) 雨天中止  
集合 我孫子市役所 午前8時30分  
交通 自家用車分乗につき、同乗者は運転者に1人1,500円をお支払い下さい。  
案内 東京湾に唯一残る自然干潟に秋のシギ・チドリに出会いに出かけます。いろいろな羽色をじっくり見てみましょう。弁当・観察用具・雨具持参。

申込 飯泉(0471-75-6017)

担当 飯泉 仁・久美子、猪爪、向井

### 全日本バードカービングフェスティバル'99

日本バードカービング協会主催の作品展が今年は10月1日(金)から3日(日)まで市民会館を会場にして開催されます。当会では市の呼びかけでこれに協力して次のとおり行事を実施します。

基本的には昨年と同様ですが、多数の会員のお手伝いをお願いします。

なお、2日(土)には大ホールで映画「グース」が上映される予定です。(13:40~15:40)

### ①市民手賀沼探鳥会

期日 10月3日(日) 雨天中止  
集合 我孫子市役所前 8:30(市民は9:00)  
(終了は12:00頃の前定)

参加市民を市のバスで五本松公園まで運び、遊歩道を探鳥しながら水の館まで戻ります。

担当 飯泉 仁・久、首藤、染谷、大久保、向井他  
展示担当を除く全幹事

### ②「庭に鳥を呼ぶ」

期日 10月1日(金)~3日(日)  
集合 市民会館3F 8:45(開場は9:20)  
(終了は16:30、最終日は15:00)

コーナーに鳥が好む各種の木の実、種子、  
バードケーキやフィーダ、写真などを展示  
する他、餌台の販売も行う予定です。

担当 木村、島崎、間野、佐々木  
上記2つの行事にお手伝いいただける会員  
は下記へご連絡下さい。展示コーナーは一日  
または半日だけでも結構です。  
TEL (0471-87-2222) 島崎純造

## 手賀沼探鳥会とカウント

期日 10月10日(日) 雨天中止  
集合 我孫子市役所前 午前9時  
案内 カモの第一陣が渡って来るころです。  
刈り取りが終わったいつものところでノ  
ビタキが見られるかも知れません。  
正午頃解散予定  
担当 向井、大久保、染谷

## 手賀沼清掃

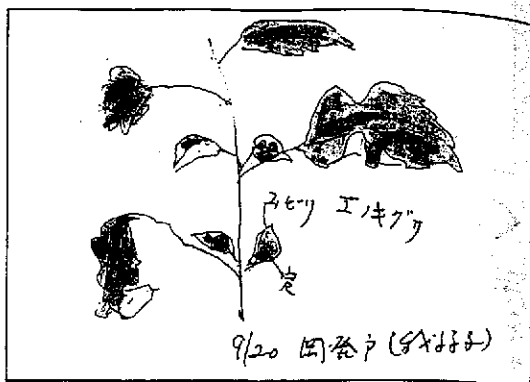
期日 10月10日(日) 雨天中止  
集合 我孫子市役所前 13時30分  
案内 恒例になった手賀沼のゴミ拾いです。  
沼南側の探鳥ポイント2,3か所で実施。  
大事な私たちのフィールドです。BWでお世  
話になっているお礼の気持ちで多数の参加  
を望みます。長靴、軍手着用。  
担当 志賀、木村、島崎

## 古利根清掃

期日 10月23日(土) 雨天中止  
集合 我孫子市役所前 午前8:30  
自家用車分乗で現地へ、直接我湖水路広場  
へ行ってもよい。(作業開始9:00)  
案内 市主催の古利根沼のゴミ拾いです。釣人が  
残したテグスが多いので、鳥のために参加  
をお願いします。(終了11:00予定)  
長靴、軍手を忘れずに。  
担当 木村、島崎

## 編集部からのお願い

現在の会報から更に会員間の親睦を深める目的  
で本誌に文芸欄を設けることを企画しました。鳥  
に関する俳句・短歌や手賀沼周辺の草木等のスッ  
ケチなど奮って投稿ください。お願いいたします。



この挿し絵は野口幸子会員が岡発戸の谷津田でス  
ケッチしたものです。

お忘れになっていませんか?

## 平成11年度会費納入

“ほーほーどり” 5~6月号に、平成11年度  
会費納入用の郵便振替振込用紙を同封して納入を  
お願いしました。7月31日現在で登録されてい  
る会員の方々の内、22名の方が未納となってい  
ます。大至急お振り込み下さい。なお振替用紙を  
紛失された方は、会報の末尾に記載されている会  
の払込振替口座番号宛てにご送金下さい。

## 岡発戸谷津田の草刈

5月22日(土) 染谷 迪夫

前々から話に上がっていた岡発戸の谷津田を、  
我孫子野鳥を守る会が本格的に借りられること  
になりました。広さは田圃部分と栗林を合わせて約  
300坪(田圃150坪、栗林150坪)です。

借りられたらどのように利用するかを幹事会で  
何度か打ち合わせを行い検討してきましたが、田  
圃部分は水を張って水生昆虫(トンボやヤゴ等)  
やドジョウ等が住めるようにして、水鳥達がエサ  
を求めて来るように、又栗林は栗の実を収穫した  
り野外パーティを開いたりしよう等と計画してい  
ます。地主である菅井さんのご好意で田圃を耕し  
ていただけることとなり(天地返しと言うそう  
です)そのため現在草が生い茂っている田圃の草刈  
をする事になりました。

草刈は急なことであり、先に延ばせば草が成長  
して刈り難くなることもあって、とりあえず幹事  
さん方やいつも岡発戸地区の観察に参加されてい  
る方に、電話連絡で参加を御願い致しました。

当日、集まっていたいただいた方は16名、草刈鎌、

銀それぞれに用意していただき、又向井さんの友人の長妻さんは（会員の坂巻宗男さんも）、自前の草刈り機持参で応援いただきました。

約300坪分の草を鎌、鋏合わせて14丁と草刈り機2台を使用して、実動時間1時間半で刈ってしまいました。最初はどうかと思ひ、いつ終わるのかと、気掛かりでしたが大成功でした。

今回の場所の提供は木村会長の努力と地主の菅井さんのご好意なくしては実現できなかったことです。有り難うございました。

（追）草刈りを始めてしばらくして、カルガモが抱卵しているのを見つけました。親は驚いて逃げてしまいました。知らぬ事とはいえ私達はびっくりしてしまいました。親は巣を放棄してしまわないか心配になり、我孫子の鳥博と山階の鳥研の意見を伺ったところ、落ち着けば親鳥が戻って抱卵する可能性があると言うアドバイスを受け暫く様子を見てみようと言うことになりました。草を刈った日から2日後、首藤 ご夫妻が様子を見に行ったところ7つあった卵がすっかり無くなってしまったということでした。周囲の状況から誰かが持ち去ったと言う結論に達しました。周囲は困いも無く誰でも入れますし、散歩をする人も多くいます。全く知らなかった事とはいえ草を刈った為にカルガモの子の成長を奪ってしまいました。残念な事でした。

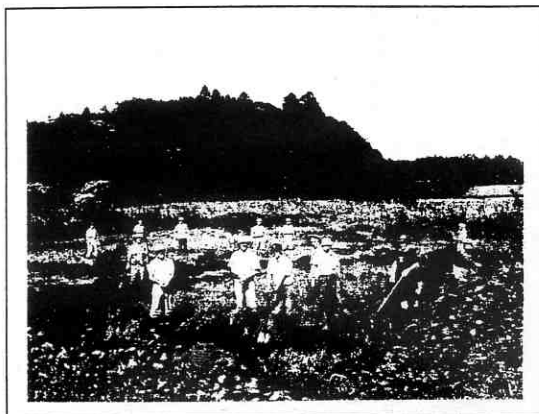
<参加者>佐々木 隆、野口澄夫（野口幸子さんのご主人）、染谷 迪夫、島崎純造、向井章雄、松本庸夫、西巻 実、梅村康之、木村正子、宮下三禮、田丸喜昭、長妻 博（向井章雄さんの友人）坂巻宗男、赤尾 完、首藤 佑吉、中野久夫  
以上16名

## 岡発戸谷津田の池作り

6月13日（日）晴れ 梅村康之

岡発戸谷津田の田圃を地主の菅井さんのご好意でお借りした。地主さんに田圃の天地返しをしていただくのはあまりにもご好意に甘え過ぎるのではとの木村会長の考えから、6月定例探鳥会の日午後1時30分から会員有志でスコップ、鋏等でドロコになりながら、天地返しを行った。田圃の中に小さな池を数箇所作りしばらく様子を見ることとした。池に水生動物や植物が早く自生し野鳥の楽園となることを期待しながらの作業となった。夏の炎天下での作業は汗とドロとの戦いで、全員ドロを全身に受け途中一休みしながら、午後

4時過ぎ無事作業を終了した。



○ 写真は岡発戸谷津田での作業の様子

<参加者>間野吉幸、村井 治、向井章雄、猪爪敏夫、諏訪哲夫、佐々木 隆、梅村康之、木村 稔、大久保陸夫、染谷 迪夫、首藤 佑吉・美恵子、中野久夫、西巻 実、坂巻宗男、西城 猛、赤尾 完  
以上17名

## 第13回 探鳥セミナー報告

5月30日（日）晴れ 染谷 迪夫

今回のセミナーはいつもとは違って野外でのセミナーです。高尾山への夏鳥の囀りを聞きに行きました。夏鳥の囀りは、以前セミナーとして室内でテープで聞いたことが有りましたが、今度は実際に自然の中で聞いてみようと言う事になりました。当日は晴天で鳥達もよく囀ってくれるように思えました。8時30分に我孫子駅に集合して、新松戸で武蔵野線に乗換え西国分寺で中央線に、京王線に乗換え高尾山口の終点で下車、ケーブルカーで山の中腹に着いたのは、午前11時前です。

た。駅に到着したら、早速キセキレイの出迎えを受けて素晴らしい囀りを聞かせてくれました。又駅ではラン科の植物セッコクがサクラの樹上で薄紅色のきれいな花を見せてくれました。この植物は桜や杉の樹上に着生する珍しい美しい植物です。高尾山の自然研究路で4号路と呼ばれるコースを頂上まで、左は山右は沢という登山道を探鳥と囀りを聞きながら登りました。途中大きな吊り橋の前後でオオルリ、キビタキ、センダイムシクイ等の囀りをきくことができました。室内で録音の囀りを聞いた時とは随分と違って聞こえました。自然の中で直接聞く囀りは複雑で迷いましたが暫く聞いていると録音の中で聞いた事のある節回しが出てきて判断できました。それでも自然の中で聞く随分様子が違って聞こえました。我孫子のメジロと高尾山のメジロは違って聞こえましたが、聞き慣れて来ると同じように聞こえました。周囲の景観が異なるとなぜ最初は違って聞こえるのでしょうか、よく判りません。12時過ぎに山頂に到着、昼食の後、午後1時過ぎに今度は6号路と呼ばれる自然研究路を沢沿いに下って行きました。途中オオルリとキビタキを参加者の半分ずつが見ることができました。それにしても夏鳥の探鳥というのは、声や囀りが優先で姿を見られるということは、多くありません。それだけに姿を見られた時は、喜びもひとしおです。今回は自然の中で囀りを聞くという目的は達せられましたが、それでも姿もみたい！という欲求は残りました。

<認めた鳥>カルガモ、オオタカ SP、ノスリ、キジバト、ホトトギス、コゲラ、イワツバメ、キセキレイ、ヒヨドリ、ヤブサメ、ウグイス、センダイムシクイ、キビタキ、オオルリ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロ、スズメ、カケス、ハシボソガラ 以上21種 1SP。

<参加者>野口幸子、宮下三禮、橋本 清、佐々木 隆、諏訪哲夫、猪爪敏夫、戸塚 道、西巻 実、間野吉幸・一江、染谷 迪夫、向井章雄

以上12名

★探鳥会で見られた植物他

(蝶) アサギマダラ

(植物) セッコク、タマアジサイ、ヤマアジサイ、ブナ、イヌブナ、アワブキ、ハウノキ、コメウツギ、マルバウツギ、ウリノキ、ミヤマシキビ、カヤ、モミ、マタタビ、ジャガ

## ◎裏磐梯探鳥会

6月5～6日

西巻 実

【柳の下に泥鰌がまたいたこと】

7年前のここでアカショウビンに出会ってから

私には裏磐梯＝アカショウビンの意識が定着している。しかしその後まったく気配もなく過ぎ、あきらめていた。(記録はあるが耳の悪い私には聞こえない) それで、なんと現れたのである。

早朝から鳴き声が私の耳にも微かなが聞こえあるいは…とは思っていたが、まさか姿まで見せるとは。もっとも、私は一足ちがいで見られなかったけれど、自分でも不思議であるが、残念さよりも「よかった…」という安堵のうれしさの方が大きかった。泥鰌はまたいたのである。ほんとによかった。

### 【雛の口は赤かったこと】

なにガラスかわからないがカラスの巣があり3羽の雛がいた。1羽が大きく口を開けていたが中が赤い。強烈に真っ赤なのである。成鳥のカラスの口中は黒かったはずで、これには驚いた。

雛が開けた口の赤い色(橙色も)を見ると、親鳥は反射的に餌を入れる…と本で読んだことがあるが、カラスも例外ではなかったのである。でも例外のない原則はないともいう。カルガモなどのように、親が餌を直接は与えないといわれる鳥の場合、雛の口中の色はどんな色なのだろうか？

このような些細な事実や不思議に気づくことが大好きな私には、大収穫であった。

【認めた鳥】カイツブリ、アオサギ、カルガモ、トビ、ノスリ、タカSP、バン、オオジシギ、キジバト、カッコウ、ツツドリ、ホトトギス、アマツバメ、アカショウビン、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ミソサザイ、コマドリ、コルリ、クロツグミ、アカハラ、ウグイス、オオヨシキリ、キビタキ、オオルリ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ノジコ、アオジ、カワラヒワ、イカル、スズメ、コムクドリ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、

以上49種 1SP。

【参加者】佐々木 隆、一番が瀬国彦、向井章雄、猪爪敏夫、大久保陸夫、梅村康之、村井 治・登代、首藤佑吉・美恵子、飯泉 仁・久美子、小林秀美、赤尾 完、木村 稔、諏訪哲夫、西巻 実、戸谷輝夫・満知子(戸谷さんは現在仙台在住の会員で現地にて合流して下さいました)以上20名

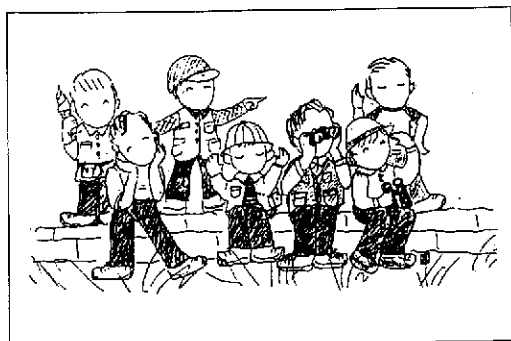
## ◎みちのくの野鳥を訪ねて

仙台市 戸谷輝夫

ここは裏磐梯五色沼入口、6月5日に私共夫婦は今か今かと待っていました。やってきました。

やってきました。何とド派手な虹色のマイクロバスではありませんか。バスから降りてきたのは、木村会長はじめ懐かしい顔・顔・顔。皆様お変わりありませんね。小生が仙台に転勤になってから、早いもので4年半が経過してしまいましたが、久々に皆様とお会いしたとたん一足飛びに年月をさかのぼり、以前と変わぬほどにお仲間に入れて頂嬉しい出会いとなりました。実は会報を読み返してこの一泊探鳥会を知り、数日前にご担当の飯泉さんに電話をさせて頂いて、途中からの合流をお願いしておいたのです。有り難うございました。探鳥会の報告・感想文は他の参加者にお任せするとして、その後、梅村さんより「東北での探鳥の様子を寄稿して欲しい」というご依頼もあり、少し紙面をお借りして、皆様のご参考になればと筆を進めさせて戴きます。

東北の探鳥地には、今回の「裏磐梯」の他にも、オオセッカの「仏沼」・ウミネコの「蕪島」・白山山麓「十二湖」・「八幡平」の高原湿地・ブナとハイマツの「月山」などが全国区としても有名ですが、我が宮城県ではやはり「伊豆沼」でしょうか。我孫子からも今までに何度か探鳥会を組まれたことがあります。マガンやヒシクイの迫力・帰雁の群れを迎える哀愁は、何度見ても見飽きることはありません。今回ご紹介するのは、最近注目を浴びている「蕪栗沼」です。伊豆沼の南方9キロの所にある湿地帯です。伊豆沼より自然度が高く、県の遊水地化事業とあいまって、一昨年の秋より沼に隣接する50ヘクタールの水田を冠水させ、耕作者や自然保護関係者の話し合いによって、渡り鳥の生息域を広げることになった全国でも珍しい例です。従来田圃を背にして沼の観察路だったコースが、今では両脇に水をたたえた1キロの観察路となっています。しかもマガンやヒシクイの降りる位置も近いので、頭上近くを飛ぶ迫力は伊豆沼の比ではありません。伊豆沼が観光地化しすぎたせいか、野鳥も徐々にこちらへ移動してきているようで、オオハクチョウをはじめ数万羽を越す渡り鳥が越冬するようになっています。またこの観察路の入口が分かりにくいので、まだ来訪者も少なく静かな贅沢なウオッチングが楽しめます。今度ご計画がおありでしたら御一報下さい。ではまた何処かでお会い出来ることを楽しみにしております。



このイラストは戸谷輝夫さんが書かれました。

## ○ 手賀沼カウント

調査日時	1999年6月13日(日)		
晴れ	9:20~12:00		
〈カウント班〉飯泉 仁・久美子、	以上2名		
〈探鳥班〉谷山晴男、向井章雄、村井 治、遠藤	織太郎、宮下三禮、品田 清、斉藤悦朗・文江、		
間野吉幸、中野久夫、西巻 実、島崎純造、諏訪	哲夫、菅澤雄貴、川田光男、赤尾 完、田中 斉、		
大久保陸夫、藤井みち子、野口幸子、井上 正・	智、西城 猛、中村吉男・じゅん、染谷 迪夫、橋		
本 清、木村 稔、首藤佑吉、猪爪敏夫、加藤文夫、	田丸喜昭・メリールイス、佐々木 隆、本田修二		
	以上35名		
鳥 種	上 沼	下 沼	計
カイツブリ	3	4	7
カワウ	32	66	98
ヨシゴイ	5	2	7
ゴイサギ		1	1
アマサギ		1	1
ダイサギ	3	4	7
チュウサギ		1	1
コサギ	1	10	11
アオサギ	2	6	8
コブハクチョウ	2	1	3
カルガモ	14	9	23
バン	1		1
オオバン	8	4	12
コチドリ	1	1	2
コアジサシ	2		2
計 15 種	74	110	184

〈他に認めた鳥〉カワセミ、◆コゲラ、ツバメ、ヒバリ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、◆ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、◆シジュウカラ、◆メジロ、◆ホオジロ、◆カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス  
◆カウント班のみ 以上18種 合計33種

## ◎ ヤマガラ、我孫子にもいた!

柴田五郎

ちょっと古い話になるが、6月5日「川根の会」に今年も出席した。この会は「ふる里会」みたいなもので、川根茶の産地として知られる大井川流域川根地方の出身者と同地方に住んだ事があり、東京周辺に住む者を対象として作られている。毎年この頃に例会を開くが地元からは、町長を始め、町の有力者が出てくる。今年は会を始める前に、明治神宮の花菖蒲苑を見た。その時である。菖蒲田の周囲林縁の遊歩道を歩いていたら、すぐ目の前の路傍の楢の古木の根元を、ヤマガラがチョコロチョコロ歩き回っている。そして林の中に消えて行ったが、野外でヤマガラを見るのは始めて。大発見である。我孫子でも見たことはないし、本誌の「鳥だより」でも見た覚えがない。それで帰宅早々、高橋さん、西巻さんに電話し、我孫子にヤマガラがいるかどうかをお聞きしたらいるという。そして高橋さんは、何年か前の「ほーほーどり」に書いたが、うちの庭に来て餌をねだったりしたと言われるので「ほーほーどり」の綴りを調べてみたら、あった。報9年3～4月号にのっていた。それで報元年以降の「鳥だより」を調べてみたら、次のとおりでいい勉強になった。うちでは、つい最近、近所からいただいたヤマガラがいる。輸入証明書付きで籠ごといただいた。とても澄んだいい声で鳴くし、いろいろな鳥の鳴きかたをする。籠の中をクルクル忙しく飛び回り、見ていて楽しい。いいものを戴いたと喜んでる。

記(敬称略)

H3、12、22	五本松公園 ①	西巻
H5、05、02	手賀の丘	志賀
H5、10、28	高野山 ①	高橋
H6、05、05	鷺野谷	志賀
H6、05、07	手賀の丘	志賀
H6、09、25	あけぼの山公園	木村他6名
H6、12、23	中里市民の森	赤尾
H7、05、16	沼南町大島田	志賀
H8、05、06	沼南町金山	志賀
H8、11、02	自宅 ②	木村
H8、11、3～8	自宅 ④	高橋
H9、01、01	手賀の丘公園③	西巻

以上

## ○手賀沼ふれ愛フェスタ＝水辺のイベント

(7月10日)

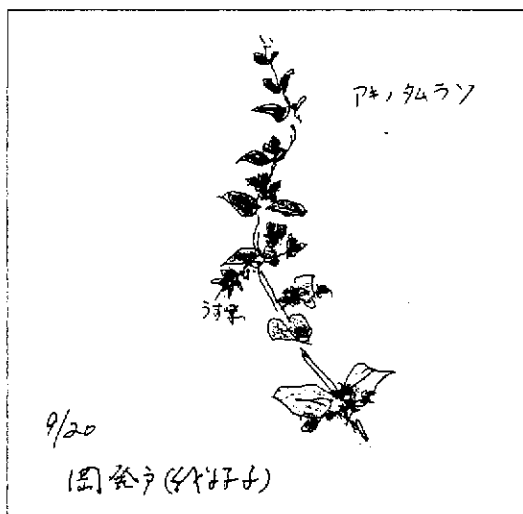
島崎純造

心配されたお天気も日中はどうやらもって、会場の親水広場は市民団体等の展示ブースや野外ステージでのお囃子、トークショー、わが会の手賀沼探鳥会を始めとする体験・見学会、それにフリーマーケットと盛りだくさんの企画で大賑わいでした。新聞報道では約1万人の来場者があったとか。探鳥会は11:20から1時間おきに4回実施しましたが、他の催し物との競合などから成果はいまいちでした。今回は市民の参加は19名でしたがこのイベントは来年も行われますので、さらに充実を図っていきたいと思います。

なお、会場を視察された真鍋環境庁長官、福嶋我孫子市長が当会のブースにも見えられて会員を激励されました。

<参加者>木村 稔、飯泉 仁・久美子、赤尾 完、西条 猛、中野久夫、佐々木 隆、田丸喜昭、西巻 実、村井 治、向井章雄、染谷迪夫、小玉文夫、志賀鉄雄、間野吉幸、島崎純造 計16名

この挿し絵は岡発戸で野口さんがスケッチしたものです。



## 岡発戸の谷津田の観察だより

### ○ 手賀沼カウント

調査日時	1999年7月11日(日)		
雨後曇り	11:30~13:00		
<カウント班>	飯泉 仁・久美子、以上2名		
<探鳥班>	雨にて探鳥会は中止		
鳥種	上沼	下沼	計
カイツブリ	5	2	7
カワウ	19	32	51
ヨシゴイ	7	4	11
ゴイサギ	3	2	5
アマサギ		2	2
ダイサギ	2	2	4
チュウサギ		1	1
コサギ	1	3	4
アオサギ	4	3	7
コブハクチョウ	1	1	2
マガモ		1	1
カルガモ	8	8	16
オオバン	7	1	8
コアジサシ	3		3
計14種	60	62	122

<他に認めた鳥> チョウゲンボウ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ホオジロ、カワラヒラ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、今回は探鳥会が雨の為中止となりカウント班のみの記録となりました。

以上15種 合計27種

### 7月24日開催納涼会報告

幹事 田丸喜昭

市民会館でのスライド映写会終了後、予定通り希望者による納涼会が、我孫子駅前のMへ場所を移して開催されました。参加者は、この日は車で来なかったために、久しぶりに乗るバスにオオハシャギ。新しい会員になった谷山氏を含めて、メートルが上がり、“サンズイの酉”を愛する精神が高揚するにつれ、鳥、岡発戸の谷津田、人生論等々が、賑々しく語られ、同じ場所での二次会となり、一升瓶が空になって無事解散の運びになりました。当日徴収した会費から支出合計を差し引いた額が、会の収入になりました。

岡発戸の谷津田に池を作りました。栗林の中に郵便ポストを設置しました。この中に雑記帳を入れています。立ち寄った方はお気軽に何か気のついた事を記入して下さい。雑記帳の中から拾い出しました。

6月27日 雨 木村

ノシメトンボが多い。池作りの方々、ご苦労様です。アオダイショウがネズミを飲み込むところをみました。雨でカメラ持参せず残念!

7月1日(木) 晴れ 夕方 首藤美恵子

水量変わらず。ホオジロのさえずり。シオカラトンボ産卵。昨日の雨量が多かったせいか、すべての場所に水がある。アメンボ多数。ドジョウがいた。うねりの上にザリガニの穴及びサギの足跡、ザリガニの穴から家主がのぞいていた。ノシメトンボ3、アキアカネ1、奥の水路のあたりで、ヒメダカ?あるいはキンギョ?が多数いる。これは入れたものでしょうか。

7月3日(土) 雨

アジアイトトンボ2取水順調

7月3日(土) 曇 PM5:00 梅村

取水が順調な流れ、皆様が階段など作って下さってありがとうございます。近くで、ホオジロがさかんに囀っています。アメンボウがスイスイと沢山います。アシタ天気にな~れ!

7月4日(日) 晴れ AM10:00~ 木村

トンボが増えました。(栗林と池の周辺) アジアイトトンボ3、ノシメトンボ40位、シオカラ5、アキアカネ3、オオシオカラ1、コシアキトンボ1、(腰が黄色)オオヨシキリがネムの木で囀っています。ツバメが飛びながら水を飲んだ。キアゲハがセリに卵を産み付けている。オタマジャクシ多数(アマガエル?)

7月5日(月) 曇 PM1:00 島崎

ツバメが上空を飛びまわっている。池近くにくるのにもいます。向こうの林でヒヨドリがさかんに囀っている。遠くでウグイス、となりではオオヨシキリ。風がさわやか。ベンチに座って、梅雨の合間のひとときを過ごしました。

7月6日(火) AM6:00 木村

中野さんが更に田を拡大して下さったようです。大変な苦労だったでしょう。驚きます。ホトトギスの声がしています。ホオジロが近くで囀っています。

7月8日(木) 西巻

中野さんが引き続きガンバッテいました。頭が下がります。アメンボが沢山、ヤゴらしい小さいものもいて、楽しみです。ホトトギスが盛んに鳴いていました。

7月11日(日)曇 PM4:15 赤尾 完

カワセミが池の縁から森の方へ飛んでゆきました。セグロセキレイも周辺を飛んでいました。こんなに整備してくださった中野さん、ほんとにおつかれさま。当日見学者幹事7名

7月16日(金)晴れ PM2:30~約1時間 笹川

木村会長さんに引っ張られてきました。とても素晴らしい構想の休耕田利用ですね。野鳥では、ヒクイナ・タマシギ・クイナ・クサシギ・タシギなどや、ギンヤンマ・クロスジギンヤンマ・アオヤンマ・ウチワヤンマ・ヨツボシトンボ・オニヤンマなども期待できそうですね。大いに楽しみにしています。皆さん、ご苦労様です。

7月17日(土)晴れ PM3:00~ 向井章雄

アキアカネ・シオカラトンボ多数。水辺では、アジアイトトンボが産卵中。ゴルフ場のあたりからカッコウの声。水温は、取水口のあたりは冷たいが池の大部分で生温かい。夏場の水温上昇が心配。それでも、モズが水を飲みに来て来た。

## 岡発戸の谷津田にカワセミが来た

向井章雄

岡発戸の開水面は、中野会員の連日の作業により、見違えるように開けてきました。周りにウネもでき、トンボ、ミズスマシが沢山やってきました。7月11日皆と出かけてみると、きらりとコバルトブルーに光るのが、……。なんとカワセミが来てくれました。皆の苦労が報われた思いと、これから何が集まってきてくれるかと、期待に胸が大きくふくらむ思いでした。ここには木村会長により、木製のベンチが置かれ、ポストが設置されています。気が向いた時にここへ来て、作業した内容や見た鳥や昆虫、感想やご意見をポストの中のノートに書いておいて下さい。皆で守って行く、NATURELANDに愛称を付けましょう。



この挿し絵は岡発戸で野口さんがスケッチしたものです。

## “鳥だより正誤” 赤尾 完

前号No.149の鳥だよりのミスをお詫びして訂正いたします。

6頁下から11行めの

03.05 [我孫子電力中央研究所]のうちのヒヨドリ(2)と7頁上から5~6行の

05.01 [沼南町手賀新田]ムナグロ(50)、キョウジョシギ(5)は重複でしたから削除してください。

8頁上から23~24行の

04.16 [中峠下根古屋]アカハラ囀り

05.05 [手賀沼公園]コイカル(1)樺の樹で囀りの次の行に

以上 島崎純造を追加してください。

## “鳥だより”

5.29 [湖北台東小斜面林]カッコウ(1)午前中繰り返し飛来して鳴いた、ホトトギス(1)17時30分一声鳴いて上空を南へ飛ぶ

5.30 [湖北台4]コジュケイ(声)、コゲラ(1)キツキツと鳴いて飛び回る、カッコウ(1)13時ころ松の梢で鳴いて西へ去る、ホトトギス(1)14時ころ上空を一声鳴いて南へ、ウグイス(1)囀り、オナガ(5+)鳴いて飛ぶ

6.08 [湖北台4]ホトトギス(1)三声鳴いて西へ飛ぶ

6.15 [湖北台東小斜面林]コジュケイ(1)藪の中



で採餌、コゲラ(1)キツキツと鳴いて飛びまわる、オナガ(5+)鳴き交わす

- 7.06〔湖北台4〕ホトトギス(1)10 時頃数声鳴いて西へ飛ぶ  
7.08〔湖北台4〕ホトトギス(1)19 時頃数声鳴いて西へ飛ぶ

以上 赤尾 完

- 6.03〔東我孫子2〕ホトトギス(声のみ)

荒木金四郎

- 5.02〔上沼田〕ムナグロ(31)  
5.02〔沼南町片山新田〕ムナグロ(86)、タシギ(1)  
5.08〔柏市弁天下〕ムナグロ(97)、キョウジョシギ(7)、キアシシギ(7)  
5.24〔柏市豊四季〕ホトトギス(2) 朝6:30

以上 飯泉 仁・久美子

- 6.07〔柏市豊四季〕コチドリ(2) 飯泉 仁  
6.13〔柏市豊四季〕ホトトギス(1)

飯泉久美子

- 5.25〔相島新田〕アマサギ(15+)、ダイサギ(1) チュウサギ(55+)、アオサギ(4)、キジ(2) ♂♀、キアシシギ(4)、イソシギ(1)、セグロセキレイ(2)、セッカ(7+)  
5.28〔高野山日立経営研修所〕ホトトギス(1)声 朝4時ころしきりに鳴く  
5.28〔高野山〕ホトトギス(1)声 朝9時ころ 上空を鳴きながら東から南東へ、キジバト 営巣抱卵

以上 笹川昭雄

- 5.20〔高野山新田遊歩道〕イカル囀りニセアカシアの木で  
5.21〔沼南町若白毛〕サシバ(2)休耕田に  
5.22〔沼南町鷺野谷〕ホトトギス(声)6:30  
5.24〔沼南町大津ケ丘1〕イカル桜の木で  
5.28〔沼南町塚崎〕アオアシシギ水田に  
5.30〔沼南町鷺野谷〕アマサギ(7)、チュウサギ(2)いずれも水田に  
5.31〔沼南町片山新田〕アマサギ(1)  
5.31〔沼南町鷺野谷〕ホトトギス(声)6:40  
6.01〔沼南町鷺野谷〕アマサギ(5)、チュウサギ(1)いずれも水田に、ホトトギス(声)  
6.02〔沼南町大島田〕ホトトギス 4:20  
6.03〔沼南町大津ケ丘1〕ホトトギス 7:40  
6.04〔沼南町手賀新田〕アマサギ(3)

- 6.05〔沼南町大津ケ丘1〕ホトトギス 7:45  
6.05〔下沼染井入新田地先〕ヨシゴイ、カワセミ  
6.06〔沼南町若白毛〕ホトトギス  
6.08〔沼南町大井〕カッコウ 13:05  
6.11〔沼南町大井新田〕サシバ電柱に  
6.12〔沼南町鷺野谷〕ホトトギス 5:45  
6.13〔沼南町鷺野谷〕カッコウ 5:45 二声鳴きながら北へ  
6.13〔沼南町大井新田〕カワセミ  
6.14〔沼南町布瀬新田〕アマサギ(22)  
6.15〔沼南町大井新田〕サシバ電柱に  
6.16〔沼南町大津ケ丘1〕イカル 11:40 桜の木に  
6.21〔沼南町大島田〕カワセミ  
6.21〔沼南町布瀬〕アマサギ(12)  
6.22〔沼南町大津川〕イソシギ(2)  
6.22〔沼南町大井新田〕アマサギ  
6.23〔沼南町若白毛〕サシバ(3)  
6.24〔沼南町大井新田〕カワセミ  
6.24〔上沼〕ヨシゴイ  
6.27〔沼南町若白毛〕アマサギ(7)、サシバ  
6.28〔沼南町岩井〕サシバ  
6.28〔沼南町箕輪新田〕チョウゲンボウ  
6.28〔上沼〕アジサシ(4)  
6.30〔下沼〕アジサシ(1)  
6.30〔沼南町布瀬〕アマサギ(5)  
6.30〔沼南町金山排水路〕カワセミ  
7.03〔沼南町若白毛〕アマサギ(3)  
7.04〔沼南町大井〕カッコウ 7:16 鳴きながらへ  
7.07〔沼南町若白毛〕アマサギ(9)  
7.08〔沼南町若白毛〕サシバ(声)  
7.09〔北新田〕ヨシゴイ、コチドリ、イソシギ  
7.15〔沼南町若白毛〕サシバ鳴きながら林へ  
7.19〔沼南町大井〕フクロウ林間を飛ぶ

以上 志賀鉄雄

- 5.03〔手賀沼大橋〕オオタカ(1)成鳥  
5.20〔沼南町箕輪〕オオタカ(1)成鳥

以上 茂田良光

- 5.25〔中峠下根古屋〕ホトトギス(1)21:30 声を初認以来ほぼ連日午前と夕方声を聞いた  
6.01〔中峠下根古屋〕ホトトギス(1)声上空を南から北へ鳴きながら飛んだ

以上 島崎純造

- 5.08〔手賀沼公園〕コイカル(1)電柱で鳴く  
5.08〔天王台3〕シジュウカラ(♀1)巣立ち雛(3)  
5.24〔岡発戸谷津〕オオタカ(1)幼鳥、キジ(1)♂

カッコウ(声)

以上 首藤美恵子

5.25〔岡発戸谷津〕キジ(2)♂♀、ホトトギス(2)

声、アオバズク声

首藤佑吉・美恵子

5.14〔岡発戸新田〕キジ(番い1組)

5.20〔岡発戸新田〕キジ(1)♂鳴き声

5.31〔下沼高野山新田地先〕シジュウカラガン(3)

7.21〔下沼高野山新田地先〕シジュウカラガン(3)

以上 立川節子

5.27〔湖北台中央公園〕ホトトギス(1)声

6.08〔湖北台中央公園〕ホトトギス(1)声

以上 中尾米子

5.01〔北新田〕ムナグロ(165+)採餌・休息、チュウシャクシギ(2)、キョウジョ、シギ(4)いずれも採餌

5.01〔北新田4号排水路〕クサシギ(1)、カワセミ(1)いずれも採餌

5.01〔久寺家排水路〕クサシギ(1)、イソシギ(1)いずれも採餌

5.02〔北新田〕タシギ(1)休息

5.02〔北新田4号排水路〕コチドリ(3)採餌

5.02〔古戸〕キジ♂(1)♀(1)採餌、ムナグロ(35)採餌・休息、キョウジョシギ(8)採餌

5.02〔上沼田〕チョウゲンボウ(1)物色飛翔、ムナグロ(220+)・クサシギ(1)、キアシシギ(4)キョウジョシギ(14)いずれも採餌・休息

5.04〔北新田〕ムナグロ(270+)、キョウジョシギ(14)いずれも休息・採餌

5.07〔北新田〕アマサギ(2)飛翔、アオアシシギ(2) <キアシシギ(11)いずれも採餌、タシギ(2)休息

5.08〔北新田〕アオサギ(2)飛翔、ダイサギ(4)チュウサギ(10)、アマサギ(2)、コサギ(4)いずれも採餌、チョウゲンボウ♂(1)獲物を掴み飛去、チュウシャクシギ(1)、アオアシシギ(2)、タカブシギ(2)いずれも採餌、ウズラシギ(1)休息

5.09〔北新田4号排水路〕ササゴイ若鳥(1)採餌

5.10〔北新田4号排水路〕クサシギ(1)イソシギ(1)キアシシギ(1)キョウジョシギ(2)カワセミ(1)いずれも採餌

5.11〔北新田〕ゴイサギ(1)飛翔、チョウゲンボウ(1)物色飛翔、ムナグロ(180+)採餌・休息、コチドリ(2)休息、キアシシギ、キョウジョシギ(14)いずれも採餌、タシギ(2)ウズラシギ(1)いずれも休息、ハマシギ(2)採餌

5.12〔北新田〕トウネン(2)採餌、ウズラシギ(2)休息

5.13〔北新田〕チョウゲンボウ(1)カラスに絡まれ飛去、アオアシシギ(1)飛立、トウネン(2)ハマシギ(2)いずれも採餌

5.13〔北新田地先利根川河川敷〕カッコウ(1)鳴き声

5.14〔北新田〕キョウジョシギ(28)、ウズラシギ(2)、ハマシギ(2)いずれも採餌

5.17〔北新田〕タシギ(1)休息

5.19〔北新田4号排水路〕カルガモ雛(9)、コチドリ(1)、クサシギ(1)、イソシギ(2)いずれも採餌

5.22〔北新田〕チュウシャクシギ(1)採餌

5.23〔北新田〕ムナグロ(4)終認、キアシシギ(32)採餌、キョウジョシギ(4)、ウズラシギ(1)いずれも休息

5.29〔北新田〕カッコウ(1)利根川堤防のアンテナ上

5.31〔北新田〕チョウゲンボウ(1)物色飛翔、キアシシギ(4)休息

6.02〔北新田〕ゴイサギ(2)、コチドリ(2)いずれも採餌

6.02〔北新田4号排水路〕カワセミ(2)採餌

6.04〔久寺家〕ホトトギス(1)初認

6.10〔北新田4号排水路〕カワセミ(3)採餌

6.11〔北新田〕キジ♂(1)♀(1)雛(3)採餌

6.14〔北新田4号排水路〕イソシギ(1)休息

6.15〔北新田〕カッコウ(1)利根川堤防のアンテナ上

6.21〔北新田〕ヨシゴイ(1)葦の天辺で休息

6.23〔北新田4号排水路〕イソシギ(2)採餌

6.25〔北新田〕チョウゲンボウ(1)物色飛翔

6.26〔北新田〕コチドリ(6)採餌・休息

6.28〔北新田2号排水路〕カイツブリ(2)各々雛を1羽ずつ背負い遊泳

6.29〔北新田4号排水路〕イソシギ(4)採餌

以上 中野久夫

5.05〔北新田〕メダイチドリ(1)、ムナグロ(360+)休息と一部採餌、キョウジョシギ(7)、キアシシギ(2)、いずれも同じ一枚の田に

5.12〔北新田4号排水路〕キョウジョシギ(12)採餌、キアシシギ(3)採餌

5.28〔北新田4号排水路〕タマシギ(♀)鳴き声

6.08〔久寺家〕アオバズク斜面林に声

6.10〔柏市あけぼの山公園〕フクロウ日中に鳴き声

6.29〔北新田〕キジ♂(1)♀型(8+)藪から飛び立つ

以上 西巻実

5.20〔岡発戸谷津〕ゴイサギ、コサギ、アオサギ

、オオタカ、キジ、コジュケイ(声)、キジバト、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、モズ、ウグイス(囀り)、スズメ、ムクドリ、ハジボソガラス、ハシボトガラス

野口幸子 宮下三礼

5.30 [緑2] カッコウ(声)朝 5:50~6:30 場所を変えて何度か鳴いた

松本庸夫

番外

- 5.13 [沼南町藤ヶ谷] ハルゼミ
- 6.14 [沼南町鷺野谷] ハグロトンボ
- 6.14 [沼南町布瀬] ショウジョウトンボ
- 6.24 [沼南町鷺野谷] タヌキ道路を林の中へ
- 6.25 [沼南町鷺野谷] ハグロトンボ
- 7.03 [沼南町箕輪] オオツノトンボ
- 7.08 [沼南町大井] ヒグラシ、ニイニイゼミ声
- 7.16 [沼南町大井] アブラゼミ
- 7.19 [柏市戸張新田] コウモリ(6)19:30
- 7.20 [沼南町大井] ミンミンゼミ

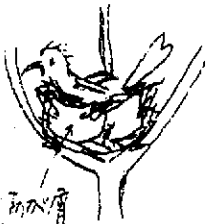
以上 志賀鉄雄

「ひよどり子育て観察記」

野口幸子

1999. 7. 4

自宅裏モミジの三つ又枝(高さ2m)にひよどりの巣を発見。工事現場のカンナ屑と小枝、ビニールを使ったおおざっぱな大わん状の巣で親が入ると左図のようになる。人の気配で巣を離れるので気を使う。昨年ハナミズキの高枝で巣造りの後、抱卵をはじめたが、3日程で親がこなくなって未完に終わり、秋に巣をみたら何も入っていなかった。



7/4~11 抱卵はつづいているが卵が入っているか気掛かりだ。図書館で「ひよどりの仲間たち」(日本野鳥の会編)を借りて、抱卵12~13日、ヒナになって巣立ちまで10~11日、巣立っても1ヶ月位給餌行動がみられる



ということを知った。我家の場合いつから抱卵しているかわからない。

7/14

朝抱卵、ヒナの気配なし。親が留守の時ハシゴをかけて夫が覗いてみた。紫の斑点がある3センチ弱の卵が5ケ。親鳥がけたたましく鳴くのでこれ以上刺激は与えられない。裏は新築工事中で人の気配、機械音がしきり。うまくヒナがかえるか心配である。

7/16



朝玄関の裏窓から(観察定位置)双眼鏡でみると、透きとおった小さな嘴(肌色)がみえた。確実にヒナの誕生だ。我子の誕生に似た喜びだ。夫がまた覗いたら3羽のヒナが認められた。気づかなかったが、14日頃から

1羽づつヒナがかえった計算だ。前述の本によると、誕生2日目からヒナ1羽あたり給餌回数は1時間/0.65回、10日目で3.85回とのこと。だから給餌行動はなかなかみられない。一度だけ食物をもらっているヒナの口を3つ確認できた。親鳥は時々抱卵状態をつづけている。

7/17

早朝親鳥は抱卵中。巣にかぶさる姿勢をとっている。ヒナはあまり鳴かない。5ケの卵全部かえるといいな!

7/18

親鳥が餌をとりについている間、見たいのを我慢していた数人でハシゴをかけてみた。(朝7:30)5羽丸裸のヒナを確認できホットした。小さな巣と思ったが、ヒナが小さいので恰好の大きさだ。観察終了後、見張って待っていたように親鳥が口いっぱい餌を大きくあけたヒナの口に次々入れてやって、サッと飛びたつた。その後すぐ別の1羽(ひよらしい)が給餌をした。先の親は西へ後の親は東へ飛びたつた。巣に入るのにも周囲に注意深く数カ所(枝)移動しながら近付く様は安全目的の擬似行動と思った。とても神経をつかっている。夜はどうするのか?

7/19

ヒナが元気に食物をねだる様子(おもいきり首をのぼし口を大きくあける)がよくみられる。いつも3羽が頭を出している。他の2羽も、もらっているのか心配だ。背中が少し黒っぽくなってきた。夜背後から光を



あてたらヒナたちにおおいかぶさるようにしている親鳥をみることができた。抱卵の時と違って尾羽はいつものように下にたれていた。この時期雨が多かったが、時々このようにヒナをかばう姿勢をみせていた。

7/22 ヒナの羽が大きくなってきた。頭のポヤポヤ毛も親に似て可愛い。下口バシの方には白っぽい毛が生えてきた。

7/23 梅雨あけ。急に暑くなって、巣の中が混み合っているのが可哀相。よくみると羽がとてもきれいに生えそろってきているのがわかり、それをひろげようとするが、巣が狭くうまくできない。いつも重たげだった頭も、体とのバランスがとれしっかりしてきた。目もきれいに開いて周りをみている。

でも餌を求めて、大きくあける口は相変わらずである。ピョピョ(?)の鳴き声にも力を感じる。本によると巣立ち 11 日目は明日である。予定通りかな?

7/24 朝はまだ 5 羽揃って親を待つ姿勢。昨日より更に羽をひろげる行動が多くはみだしそう。昼間、出かけていて 4 時頃帰宅(梅村さんに会い、誘う)早速ハンゴでみてもらったら、3 羽しかいないとのこと。やはり巣立ちが始まっている。親のけたたましいヒーヨヒーヨが目立つ。夕 5 時半 1 羽だけ巣に残り、1 羽は近くのモミジの枝でバタバタしていたが最後の 1 羽がおもいきって裏の家の木立に飛び去ると先の 1 羽も同じ方向に飛びたっていった。巣立ち成功!親は警戒きびしく、鳴いて注意をうながす。カラスの鳴き声をききつけて、きびしい鳴き方をして知らせる。しばらくこの状態(本によるとこの巣立ちの後、本巣立ちまで1ヶ月)がつづくようだ。巣立ったヒナたちはひよどり特有の長い尾羽は認められなかった。

これから成長するようだ。その為か飛び方が下手だ。行動範囲も広くないらしく、高所から親が見守っている。

7/25 朝 8 時右裏の T さんから TEL「ヒナと思



↑  
片手にのり位

うけど、庭にうずくまっている庭の木にとまらせようとしてもすぐ落ちる、親が鳴いている」と通報を受ける(昨夕の巣立ちの後騒々しかったけれど暗くなったら静か

になって、よかったと思っていた)裏に出てみると、すぐ裏の新築中の立ち木の下にバタバタしながら移動したとのこと。日曜で人気がないので入ってさがす。茂みの下にいた。

手にしてみると、スズメより小さくロバシもまだ幼く尾羽も目立たないので、丸っこい形でバランスがとれないのか枝に止るのも上手にできない。やっと落ち着ける枝に止らせてやる。せっかく目の前にいるので写真もとった。落ち着いたので、親鳥を安心させる為退散。親鳥が一生懸命育てる様は人間社会と相通じるものがあり、後1ヶ月無事に完全巣立ちをみせるよう望む。明日からは、この家にも又工事の人が出入りする。よくお願いしておかねばと T さんと話あった。

8/2

巣立ちから 1 週間たつが、もう私にはヒナと親鳥のコミュニケーションの様子をみることができない。この環境にとけこんでしまっているんだなと安堵の気持ちだ。

以上

## \*感謝

会計幹事 田丸喜昭

柴田祐一様から多額のご寄付をいただきました。厚く御礼御礼申し上げます。

### 我孫子野鳥を守る会会報

発行人	木村 稔	〒270-1152	我孫子市寿 1-21-35	TEL 0471-82-7958
編集人	梅村康之	〒270-1154	我孫子市白山 1-23-15	TEL 0471-82-0625
事務局	島崎純造	〒270-1121	我孫子市中峠 3759-5	TEL 0471-87-2222
振替	00140-2-51625	我孫子野鳥を守る会		
会費	年額 2,000 円	(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族は無料)		